

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あざみ
------	-----

公表日 R8年3月31日

利用児童数 R8年3月15日現在 13名

回収数 10

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90	0	0	10	庭が広く活動が楽しめる。子どもが好きなスペース、活動場所がある。クールダウンできる場所がある。今のままの環境であってほしい。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	80	10	0	10	適切だと思うが、配置数は分からない。子どもの安全を守るための職員数は確保されていると思う。可能ならもっと多くても良い。	指定基準の配置人数を満たしています。利用状況により安全確保のために職員数をプラスしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	80	10	0	10	庭に自由に出る事ができる。室内も安心できるパーソナルスペースが確保されている。写真、絵カードを使いコミュニケーションをしている	その都度必要とされる環境設定が出来るように、職員の質の向上も合わせ取り組んでいきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	90	10	0	0	クールダウンのための場所、広い庭、部屋でのびのびと過ごすこともできれば落ち着いた和室もありシーンに応じた配置ができています。いつも清潔だと思う。以前靴下が汚れていた。	事業所内で感染症予防研修を実施、施設内の清潔保持を心がけています。安全な空間を保てるように清潔に配慮しています。靴下の汚れについては説明が不足していました。報告をしっかり行います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	80	20	0	0	一人で過ごす時間も確保し関わっている。シーンに合わせてその子に合った支援が受けられ安心して預けられる。可能なら学校と同じ支援方法で統一してもらえると子どもにわかりやすい。	学校、家庭との情報共有を行いながら、よりよい方法を考えていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	80	0	0	20		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100	0	0	0	達成可能な計画が作成されているため達成感を持ってステップアップができています。普段の様子を細かく伝えてもらえ計画も立ててもらえることに感動。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90	0	0	10	面談時に支援内容に沿った具体的な支援を提案してもらえた。自宅での様子や親のこうしてほしいという願望を聞いてもらえ、お互いの意見を踏まえた計画を立ててもらっている。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	80	10	0	10	その子に合った好きなことを提供してもらえる。無理強いが無いのがよい。いろいろな活動をさせてもらって感謝。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	20	30	0	50	本人が望んでいない。無くても問題とは思わない。交流の話は聞いたことがあるが、正直コミュニケーションが取れないので不安もある。	事業所の横の公園で遊んでいる近隣の保育園児や子どもと話を楽しんでいます。まったく地域の子どもさんとの交流がないわけではないではありません。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100	0	0	0	資料に沿って細かく丁寧に教えてもらった。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100	0	0	0	資料に沿って細かく丁寧に教えてもらった。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	60	10	0	30	交流カフェくらいしか参加したことがない。研修会があっても参加はできない。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	90	10	0	0	その日の活動内容や様子を教えてもらっている。家庭での様子も伝えている。職員に子どもを理解してもらえて、ありがたい。様子が違う時はすぐ気が付いて教えてもらえる。報告はできていないと思う。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	90	10	0	0	「いつでも相談してください」というてもらえ安心できる。面談は年数回、職員と帰り際に話すことはない。	

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	100	0	0	0	いつでも話を聞いてもらえるのでありがたい。子どもの特性を理解してくれている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	80	10	0	10	保護者会で他の保護者の話が聞けた。交流会が楽しみ	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90	10	0	0	相談に対応してもらえ改善してくれる。体調不良やけがの時に、保護者の要望に対応してもらえる。その子に合った支援を提案、対応してもらえる。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	70	0	10	20		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	80	0	0	20	法人から毎月発行される「わだち」を楽しみにしている。事業所ニュースは今後の参考になっている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100	0	0	0	留意してその都度確認してもらえ助かっている。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	60	30	0	10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	80	10	0	10	避難訓練は子どもが話してくれる。子どもは避難訓練が大好きです。訓練があることで安心している。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90	10	0	0	必要に応じて安全のために抑制したりすることも事前に確認している。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100	0	0	0	体調不良、ケガがあった場合は電話連絡が速やかに行われている。軽傷でも状況報告がある。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	90	10	0	0	職員、環境に慣れ自由に楽しんでいる。利用開始当初は不安だったが職員が寄り添ってくれているので居場所ができたと思っている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100	0	0	0	休みの時も、「あざみ」と言っている。言葉で言えないが嫌がらないので楽しんでいると思う。「あざみ」と言いながらニコニコしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100	0	0	0	土曜、祝日も利用でき満足している。親以上に子どもを理解してもらえている。	